



第135号 〒950-2022 新潟市西区小針4丁目5番18号 真宗仏光寺派 瑞林寺 光輪会 電話 (025) 266-1846 FAX (025) 266-1907 瑞林寺ホームページ http://www.zuirinji.com



秋 法要・しんらんさまの日 9月23日(金) 13時半より



- 秋彼岸法要
永代経法要
無量寿廟法要
しんらんさまの日

お斎は中止いたします

無量寿廟で7年忌を迎えられた方々は この法要をもって廟内合葬となります。

緊急告知 10月1日(土)【寺コン】開催! 新通 護念寺様にて15:00~参加希望の方は瑞林寺まで。

瑞林寺の由来と歩み 1 枋尾編



瑞麟寺にて葛藤の克服2

かくして上杉謙信の「義」の心は、越後の武將ばかりか、多くの人々の共鳴を得て、たちまち越後を制覇、今日の高校3年生、わずか18歳で春日山城に登り、兄に代わって国主の座に就いたのです。謙信の強さは京にも鳴り響き、謙信を北陸の麒麟児といつて恐れました。

御館の乱 枋尾城陥落と瑞林寺

ところが上杉謙信が亡くなると、越後は騒乱の渦となり、御館の乱が起きました。上杉謙信の姉が嫁いだ長尾景虎の息子、景勝と小田原の北条氏からの養子、上杉景虎との戦です。

謙信政権の本拠は春日山城にありながらも、政治の中核を担ってきたのは枋吉・枋尾の家臣団でした。一方、謙信政権に最後まで抵抗したのは魚沼郡の坂戸城主、長尾景虎でした。そこで坂戸城主の中核から外され、常に危険な前線の守備を任せられました。

誰も知るよしもありませんでした。おそらく武士は卒業。これからは念願の民衆とともに生きることを決意したのかも知れません。ここから小針の瑞林寺の歴史が展開されていきます。

瑞麟寺と瑞林寺をつなぐ糸 本庄新左衛門尉実乃1

長尾景虎(後の上杉謙信)と本庄実乃は景虎が実乃を「庄新」と親しみを込めて呼んでいるように、まるで父子のような親密な関係でした。

本庄実乃の本庄家が元来、長岡市の枋吉に近い青木地域を支配していた豪族で、かつては守屋、上杉家の家臣でした。実乃は枋吉長尾氏の重臣となり、枋吉城の中核の城、枋尾城の城主となっていました。

本庄実乃の本庄家が元来、長岡市の枋吉に近い青木地域を支配していた豪族で、かつては守屋、上杉家の家臣でした。実乃は枋吉長尾氏の重臣となり、枋吉城の中核の城、枋尾城の城主となっていました。

淤泥華 おていげ

8月21日~27日まで本山では夏安居という僧侶の資格を取る研修会でした。現在大谷大学の4回生になった当院・海真が、今年2回目を受けました。

9月5日~9日まで、やはり本山で開法推進員養成研修会があり法務員の出陣が研修して来ました。これは年に2回、5年間続きます。仏法は机の上で、一人本を読んでも理解できるものではありません。ましてや苦しみや悩みは人それぞれ違います。

人と会い、語り合い、同じ生活する事で絆が深まる。当院も山崎君も、行く前は重い顔をしていましたが、帰る時は疲れを隠したものの、暗れ暗れと元気に満ちあふれた顔になってました。佛光寺派は家族教団とよく言われますが、まさに二人の姿にそれを垣間見ました。住職も本山で家族のようにしてもらっています。佛光寺派の未来は明るいのです。(住職)

コロナがひろがり、今皆が気づけたこと...何気ない日常のありがたさ

Q&A section with questions and answers regarding Buddhist practices and temple matters.

永代経志納御礼 section listing names and dates of donors.

無量寿廟納骨 section listing names and dates of those who have been interred.

今日の見聞板 section with a quote and a message for the month of August.

歌謡曲は世代ごとに「思い出の曲」「青春の曲」が違っても、青春なのか思い出なのかは一緒。

秋彼岸法話

なんのために生まれてなにをして生きるのか。こたえられないなんてそんなのはいらない。子ども達ならみんな知っているアンパンマンのマーチの一節です。作詩は「アンパンマン」の作者やなせたかしさんです。

意味もわからずこの言葉を口づさるんですが、お釈迦さまは正に、このこと一つを私たちに教えるがためにこの世にいられたのです。

お釈迦さまは釈迦族の王、つまり国王になることを決められて生まれてきました。しかし生まれると同時に母は亡くなり、母の愛情を受けることなく育つていくのでした。

身体能力、知的能力は誰よりも負けて、生活は豊かでない自由のない生活に育ちながら、不安と悲しみを抱きながら毎日暮らしていました。

新米 坊さん日記

日々の生活というのは、大小問わずその目的達成のために動いている。仕事・私生活でも。その動力は私の中で望む結果をみて完結する訳だが、目的を挙げ忘れたり、望まない結果になると当然ながら落胆する。また、活力を生むのが、目的達成後の周囲の評価や褒め言葉だ。休日や旅行は目的を設定しない。旅行や外食買物、銀行等は小さい目的に入るかもしれないが、仕事上の目的を持たない。これを私の中では休日と捉えているのかもしれない。

お釈迦さまが何を棄てて何を棄てず、何を勝ち取ったのでしょうか。それは「生きる智慧(勇氣)」と「人に対する慈悲(愛)」の心でした。やなせたかしさんはそのことを「愛と勇氣だけがともたさ」と教えてくれました。

その「智慧」と「慈悲」を説く場がお寺です。大切な人の死に対して「報恩感謝」の心を抱きながら、お彼岸の法要にはどうぞ本堂に身を運び御聴聞ください。

「なんのために生まれ、なにをして生きるのか」亡き方から問われている大きな課題です。

新米 坊さん日記

日々の生活というのは、大小問わずその目的達成のために動いている。仕事・私生活でも。その動力は私の中で望む結果をみて完結する訳だが、目的を挙げ忘れたり、望まない結果になると当然ながら落胆する。また、活力を生むのが、目的達成後の周囲の評価や褒め言葉だ。休日や旅行は目的を設定しない。旅行や外食買物、銀行等は小さい目的に入るかもしれないが、仕事上の目的を持たない。これを私の中では休日と捉えているのかもしれない。

お釈迦さまが何を棄てて何を棄てず、何を勝ち取ったのでしょうか。それは「生きる智慧(勇氣)」と「人に対する慈悲(愛)」の心でした。やなせたかしさんはそのことを「愛と勇氣だけがともたさ」と教えてくれました。

その「智慧」と「慈悲」を説く場がお寺です。大切な人の死に対して「報恩感謝」の心を抱きながら、お彼岸の法要にはどうぞ本堂に身を運び御聴聞ください。

「なんのために生まれ、なにをして生きるのか」亡き方から問われている大きな課題です。